

〔優秀賞〕

◇ 男女の関わりの大切さ



あそ野学園義務教育学校 6年 峰崎 咲

「女だからこうしなくては」とか「男だからこうじゃないと」とか、大人の人が話しているのを聞いたことがあります。

なぜそう言うのかなと思っていると、テレビのドラマの中で次のようなことを言っていました。

「男性は女性よりも、人生のせんたくしがずっと多く、女性はそれをうらやましく思っている。また、女性は言いたいことがあっても、男性にがまんしてしまう、男性でも弱みを見せたくないから、言いたいことをがまんして言えない人もいる」

この会話を聞いて、男女平等ではないのかなと感じ、少し調べてみました。女性の参画の指数というのがあって、日本は世界148か国の中で118位と書いてありました。

この指数は政治、経済、教育、健康の四つの分野の男女の差をあらわしていると書いてありました。少し私には難しいですが、日本は男女平等の意識の低い国なんだとわかりました。

順位の低い理由を少し考えてみました。責任のある仕事をするのは男性の方が良いと思ったりして、それがあたりまえと思っている人が、男にも女にもいるからなのかなと思います。

また、これは男がやるのがあたりまえ、これは女がやるのがあたりまえと思っている人もいます。この意識を変えて、男性や女性のそれぞれの立場になって考え、おたがいに理解し合うことが大切なのではないか

と思います。

男女平等の意識が世界の中では低い順位の日本がよくなるためには、自分の身近な所から変えていく必要があると思います。みんなが相手のことを大切に思い、相手が自分とはちがうということを理解し合うことが大切だと思います。

これから、私はたくさんのことを経験できます。男だからとか女だからではなく、はげまし合い、助け合いながら、それぞれの良さを理解し合いたいと思います。

そして、男らしく、女らしくではなく、自分らしい考えを持ってそれを伝えられるような人になりたいと思います。